

共済・シニア意見交換会を開催

『加入者拡大の施策について意見交換を行う』

2月9日、JAM本部会議室において、2024年度のJAM共済グループとシニアクラブ三役との意見交換会を開催しま



した。JAM共済からは、椎木副書記長（共済担当役員）、滝上共済グループ長、林、竹田両共済副グループ長、シニアクラブ三役全員が出席しました。椎木副書記長と大山シニア会長の挨拶のあと、滝上共済グループ長からシニア共済の加入状況と給付状況についての報告がありました。

加入者、加入人数とも増加から横ばいとなっていました。2024年度ついに減少となりました。脱退者が微増し、新規加入者が微減しているためです。

報告を受けて、加入者拡大のための施策につ

て活発な意見交換を行いました。特にメリツトのある制度にすることが、加入者を増やす大きなポイントになるという観点で今回はシニア共済の制度改正について突っ込んだ意見交換が持たれました。この件については財政的な裏付けも必要であり慎重な取り組みが求められますが、シニアクラブとしては今後も現役共済担当者として継続して議論をすすめていきたいと思っています。

三役会議を開催 『郡山りょう氏との意見交換を行う』

共済・シニア意見交換会に先立ち第3回三役会議を開催しました。



三役全員の出席のもと、大山会長から昨今の政治情勢、健康保険証廃止撤回の取り組み、介護保険の動向などを含めた挨拶が始まり、①参議院選応援カードの取り組み②政策制度課題整理委員会の取り組み③共済・シニア意見交換会への対応④第2回幹事会について等の

退職者連合 『政策・制度要求実現2・8院内集会』 開かれる 250人が結集

協議事項について審議を行いました。参院選応援カードの取り組みについては、5月の第2回幹事会で協議・決定したあと、各地方シニアクラブに協力依頼を行う予定となります。尚会議終了後、参議院比例候補予定者「郡山りょう」氏とシニア三役との短時間の意見交換を行いました。

主張



増幅等、非常にやるせ

特に最近世の中がおかしいと思いませんか？「ふと思う」世界は、日本は、どうなっているのだろうか？元旦に能登半島を襲ったM7.6の大地震。そして地球上で起きている気候変動によるとされる未曾有の自然災害。

更に世界を見れば、ウクライナ戦争・中東戦争・中国の強権化・トランプによ

なく思うことばかりです。一方、日本を見れば統一教会問題・政治資金・パーティー裏金問題等、日替わりで政

JAM青森岩手シニアクラブ
事務局長 小野 務

治腐敗のニュースばかり。そして岸田総理は無責任に各人の説明責任と言うが関係者は誰一人従わずだんまり、さらには「記憶にない」「秘書が」とか。自分自身

が雇っておきながら管理能力の欠如を棚に上げたままです。国民にはインボイス導入など納税義務を強要する一方で、自らは脱法。法を作る議員が法令順守されていない状況に強い憤りを覚えます。

そのような状況にある中でこそ、連合・労働団体の役割と期待は大きいと思います。社会の不条理の是正に向けて運動を前進して頂くことを期待したい。昨年は賃上げ（最低賃金含）など頑張っていると思

うが様々な要因も相まって実質賃金は減少と厳しい状態です。残念ながら政府が介入しなければ進展しないのかと思うときもあります。連合・労働団体はこのような現状をどう捉えているのだろうか。「怒らない」「戦わない」連合・労働団体が有って欲しくないと老婆心ながら願っています。私は、今こそ期待したい。世の不条理に立ち向かうと共に、労働者の地位向上に向け「ガンバレ！連合・労働団体と心からエールを送りたい。

2月8日、衆議院第一議員会館において、日本退職者連合主催による第213通常国会に向けた「政策・制度要求実現2・8院内集会」が開催されました。集会には、各産別退職者組織と地方退職者組織から約250人が結集、JAMシニアからは大山会長をはじめ5名が参加しました。冒頭、退職者連合人見会長の主催者代表挨拶のあと、立憲民主党泉代表、国民民主党玉木代表、社会民主党福島党首より連帯の挨拶がありました。それぞれ、政治倫理問題で揺れる政治情勢に触れ、自民党への鋭い批判が述べられました。佐保連合総合政策推進局長からは「213国会にお

裏面へ続く

へ表面から続く



最後に2024通常国会に向けて「モノ言う退職者連合」「行動する退職者連合」として活動していく旨の集会アピールを採択し終了しました。

退職者連合 『健康保健証廃止』 の撤回に向け、地 方議会への要請活 動に取り組む

昨年12月22日、多くの反対の声がある中で政府は現行の健康保険証を本年12月2日に廃止し、「マイナ保険証」に一本化することを閣議決定しました。しかし

マイナンバーカードをめぐる問題が続出する中、国民の不安は何ら解消されてい

ません。さらにマイナ保険証の利用率は、去年4月の

6.29%から12月は4.29%

まで低下しています。

日本退職者連合は、昨年

取り組んだ「2024年秋

に予定される健康保険証廃

止の撤回を求める団体署名

の取組みを踏まえて、「マ

イナ保険証」の取得は任意

であることを明確にすると

ともに現行保険証の存続を

求めて、「健康保険証廃止

の中止を求める意見書」ま

たは「地方議会に健康保険証の存続を求める意見書」の採択を求める取組みを行っています。

現在、「健康保険証廃止の中止を求める意見書」は20都道府県で県議会1、市

議会34、町村議会75で採択されています。

今後は次の2点の請願事項を各地方退職者連合を通じて、各自自治体に要請して

いきます。

1. マイナンバーカードと

一体化されたマイナ保険証

の取得は、申請による任意

の判断のみに基づくとの原則を明確にすること。

2. マイナ保険証に対する

国民の不安が払拭されるまでは、現行保険証を存続させること。

『能登半島地震救援 カンパ』を継続実施

1月1日に発生した能登

半島地震は、石川県を中心

に甚大な被害をもたらしました。

2月16日現在、非常災害

対策本部の発表によると、

死亡241人、負傷者12

96人、家屋全壊7707

棟、半壊が9467棟となっ

ています。また避難生活を

されている方が12951

人、12931戸が断水状

態です。

止が2か所となっています。

またJAM石川シニアクラブからは人的被害はなし、家屋半壊が2棟、一部損壊が9棟との報告をいただいています。

JAMシニアクラブでは支えあい、助け合いの精神に基づき、現役の皆さんと連携しながら救援カンパ活動を引き続き行っています。

カンパ金は、地方JAMに送金してください。具体的送金先は地方JAMまたは地方シニアクラブにお尋ねください。

千葉 4年ぶりの『新春 の集い』を開催

蛇名英信 通信員

JAM千葉シニアクラブ

「新春の集い」を1月12日、

来賓含めて35名で、千葉市

中央区「中華料理店・永興」

で4年ぶりに開催しました。

主催者を代表して長岡功

会長が挨拶。会員拡大を現

役と同行4月ごろ行う。



2025年7月の参議院選

挙必勝のため「郡山りょう」

支援を積極的に行なう。岸

田政権は「自民党裏金問題

も絡み、衆院解散、総選挙

するチャンスを狙ってきて

いるので監視が必要などと

述べました。

来賓として、大山勝也J

AMシニア会長、長岡隆J

AM東京シニア会長、清野

彰JAM東京千葉書記長、

新井政義房総地協区議会議

長、大屋哲史千葉県退職者

連合会長、加々美友紀中央

労働金庫千葉支店長からお

祝いのご挨拶を頂きました。

能登半島地震救援では、

当日出席者にカンパ要請を

行い、千葉シニアクラブと

しても救援カンパを実施し、

22437円の義援金が集

まりました。

我々は今日日本が置かれて

いる最悪の状況の被害者で

もあります。加害者から防

衛する必要があります。何

もしなければ、何も生まれ

ません。JAM千葉シニア

クラブは今できることを懸命に頑張ります。

局長の進行で冒頭に東京シ

ニアクラブ長岡会長より挨拶を受け、来賓より本部

からシニアクラブ大山会長、

千葉シニアクラブ長岡功会

長、田の上いくこ都議、中

塚さちよ世田谷区議、現役

から城南地協・染谷秀明議

長よりそれぞれ挨拶を頂き

ました。最大の取り組み課

題の参議院議員「郡山りょう」の当選を期してそれぞ

れの各挨拶で取り組みへの

決意が述べられると共に、

メッセージが配布されまし

た。



東京 4年ぶりの『旗開 き』を開催

JAM東京シニアクラブ

は1月18日、渋谷の「JAM

金属労働会館」で202

4年旗開きを4年ぶりに開

催しました。

総勢41名が出席、斧原事